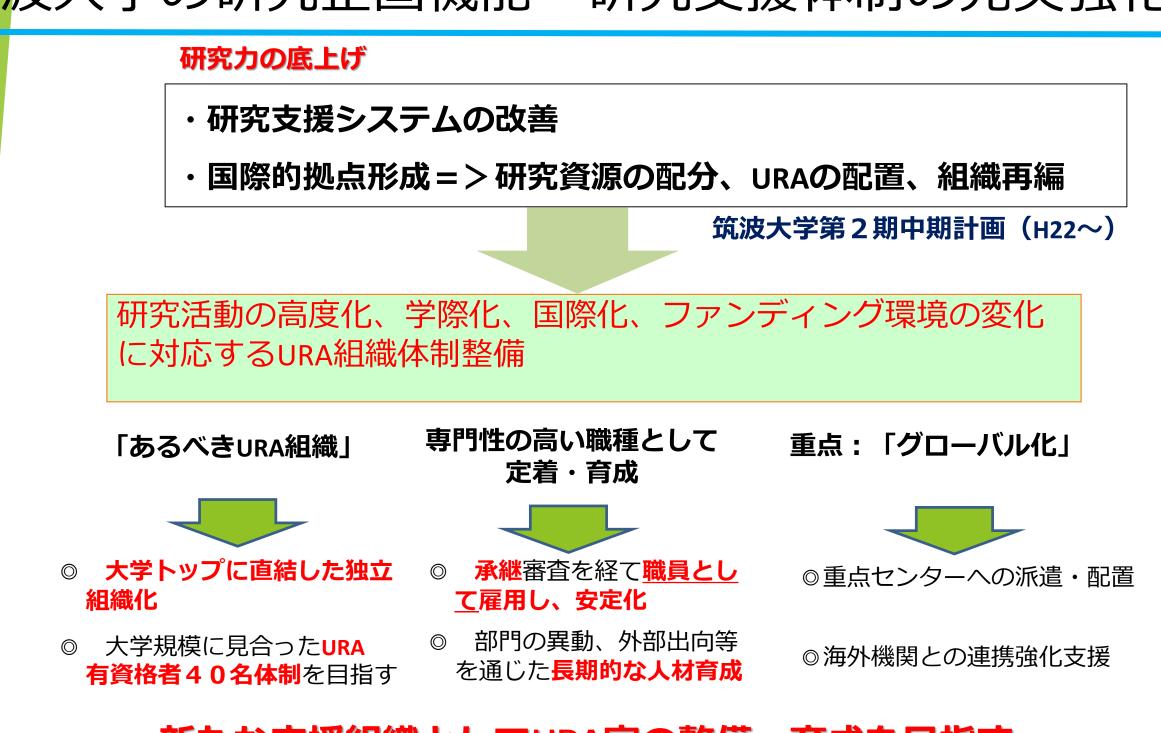


筑波大学URA組織の定着に向けた活動について

筑波大学ではURAのテニュアトラックの仕組みを導入し、URAの大学組 織への安定的な定着を図っている。本学URAの特色として研究に関する 全学の意思決定者を助けるシンクタンク機能や研究の国際化、業務高度 化等を担う本部URAと、専門知識をもって外部資金獲得支援を主な任務 とする部局配置URAが連携体制を作る。

筑波大学の研究企画機能・研究支援体制の充実強化

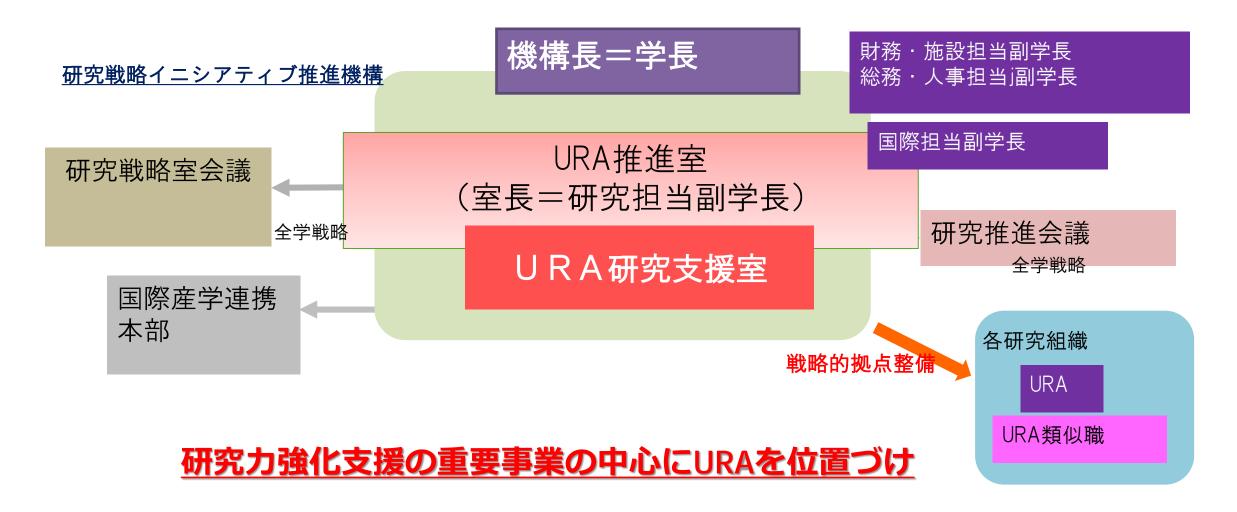


新たな支援組織としてURA室の整備、育成を目指す

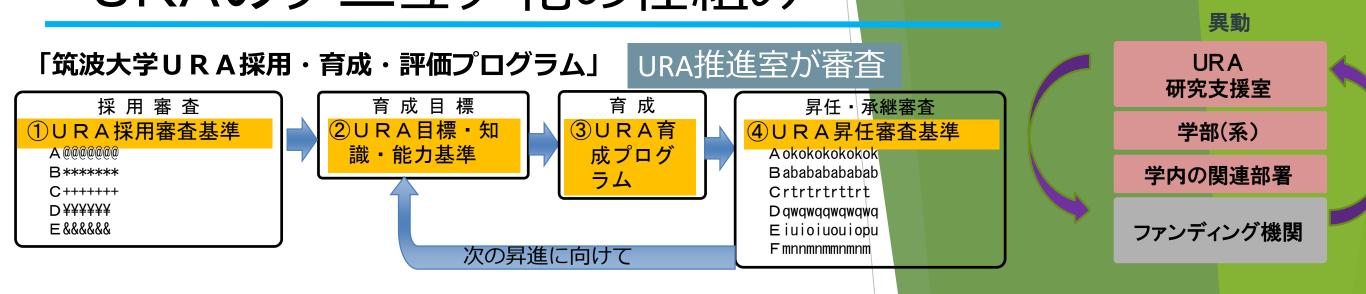
筑波大学URA組織体制

大学トップのイニシアティブ

学長直轄で「ヒト・カネ・モノ」の集中管理



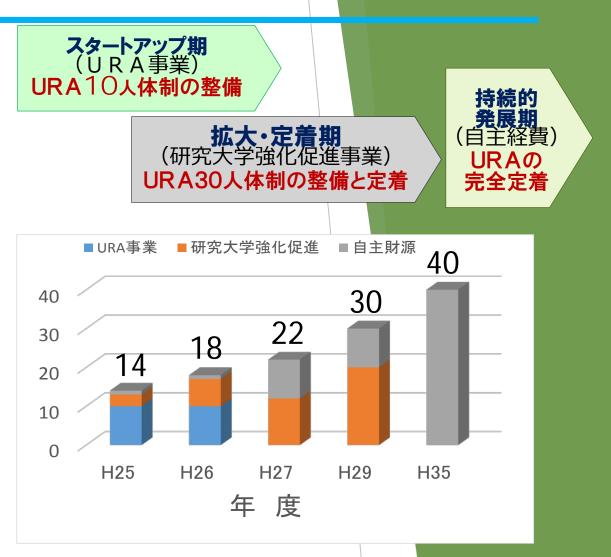
URAのテニュア化の仕組み



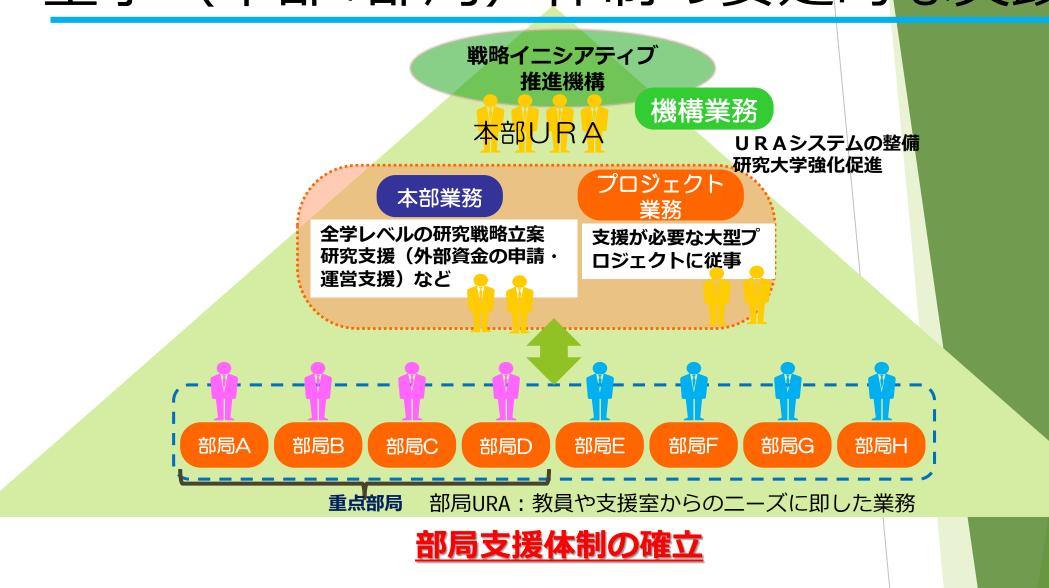
URA定着状況・プラン

- 平成35年度にURA有資格者
- 40人体制
- 「筑波大学URA採用・育成・ 評価プログラム」により雇用3年 目の評価を経て承継職員に。
- URAの雇用・育成を**本補助事** 業終了後も自主経費により継続。

<u>計画的な安定雇用化</u>



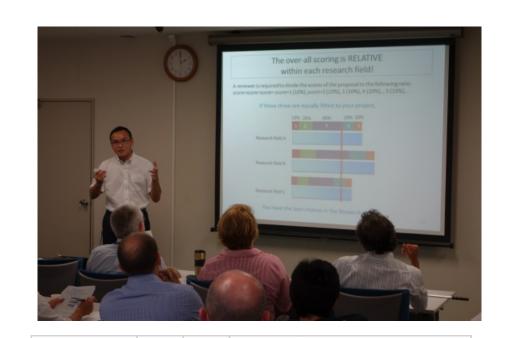
全学(本部+部局)体制の安定的な実践



URAの活動紹介

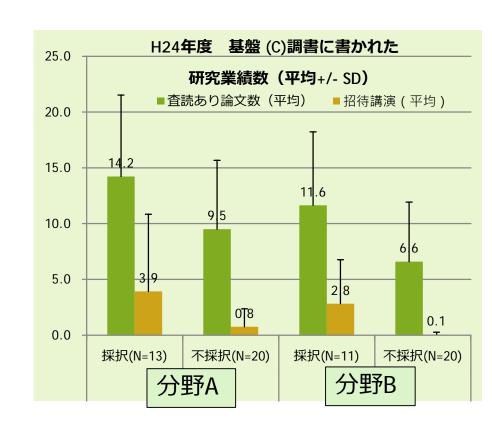
外部資金獲得支援

外国人研究者科研費セミナー

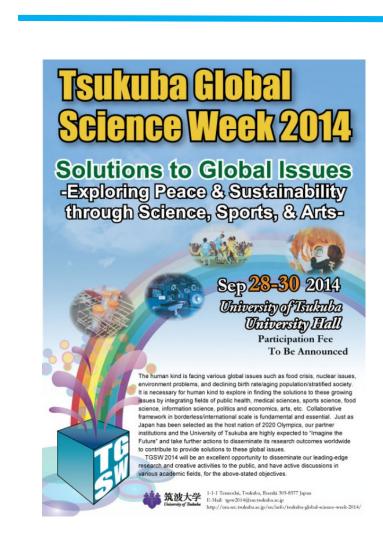


採択応募 採択率 10 35 28.6% セミナー実施後 6 31 19.4% セミナー実施前

科研費獲得実績の詳細調査 論文業績の科研費採択への重要性を 定量的に見せる啓発活動



つくばグローバルサイエンスウイーク



学術の異種格闘技戦

自然科学系、社会科学系のみ ならず芸術系、体育系まで本 学の全10学部(系)の研究 者が主催する多様な分野の国 際研究会がひとところで同時 進行する他に例を見ない国際 イベント(毎年開催)。 25の国と地域からの招待講 演者約100名 URA主催

人文社会系の研究評価指標策定への挑戦

Massey University University of Canberra Charles Darwin University

Snowball metric の創始者 Dr. John Green と池田潤教 授(学長補佐室長)が metricを本学で試行する可 能性について議論



日本の大学教授として初めてSnowball Metrics Recipe Book 2nd edition に登場 森本URAが「人社系分野への研究支援と研

and particularly in Snowball. We believe Snowball

niversities within Japan and with other countries. We

INTRODUCTION 27

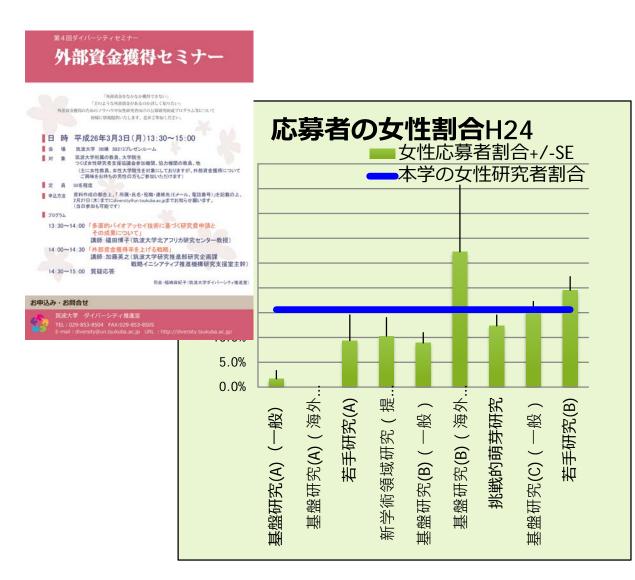
are hoping to investigate ways to use them, including in

Again, some terminological differences have been noted (for example the use of "amount applied for" in place of "price" of an application for a competitive

grant), but the group has confirmed that the needs and their solution is similar in Australia / New Zealand, as well as in the UK and the US.

共催いたしま

ダイバーシティ推進室とコラボ: 女性研究者の申請傾向を定量解析+セミナー

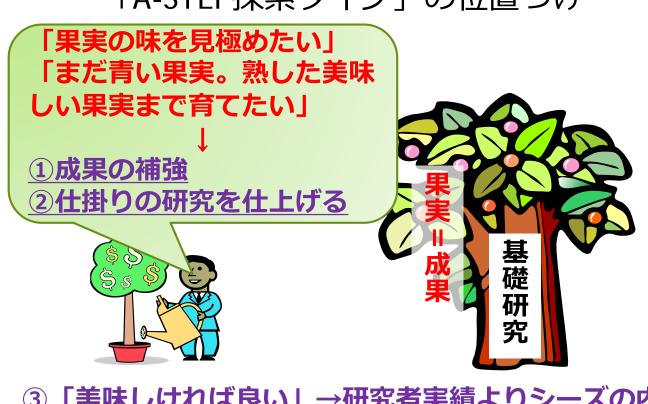


産学連携部とのコラボ:科研費&A-STEPセミナー

プログラム

- 1.科研費の制度と筑波大学の採否分析状況 by URA
- 2.科研費前哨戦としてのA-STEP 探索タイプの紹介と申請準備法 by URA
- 3.審査員を惹きつけるA-STEP 提案書 by 産連コーディネーター

「A-STEP探索タイプ」の位置づけ



A-step探索タイプ 補正シェア

③「美味しければ良い」→研究者実績よりシーズの内容

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)

大型研究チームでの研究申請書取りまとめ支援

外部資金獲得支援に関して藤根URAのポスターもご覧ください

URA研究支援室

Web: http://ura.sec.tsukuba.ac.jp ura_tsukuba@un.tsukuba.ac.jp Email: 029-853-4434 Phone:

URA活動の発信+本学研究の発信

る森本URA



